

課題：大田区立道塚小学校 令和5年度 第6回学校運営協議会

日時：2024年3月9日（土曜）10:00-12:00

場所：道塚小学校2階 家庭科室

出席：敬称略

（委員）

横山委員、加藤委員、岩井委員、花島委員、
鶴岡委員、多田委員、瀬尾委員、梨本委員、野崎委員、
安田委員、宮城委員、上田委員、細川委員（記）

（学校）

大場校長、藤田副校長、先生方

議事内容：

（報告・協議事項）

◆2023年度の成果と課題について

●得意技集会の動画、CM動画などにて子ども達の様子を説明

- 子ども達の得意技を全校児童の前で披露する。年1回行っており3年目、得意技の披露は、自由立候補制
- ダンス、元素記号の読み上げ、駅員アナウンス、漫才、縄跳び・床体操パフォーマンスなど
- 得意技発表の動画版も作っている
- こま回し、けん玉、どじょうすくい、とび箱、工作、ピアノ、集中して勉強するなど

●協議委員からの意見

- 子ども達が生き生きとして発表している、子ども達の発表の場があるのは素晴らしいこと

●おおたの教育研究会で道塚小も発表した、スライドを使って説明

- 安全・安心な学校環境づくりとしてCS/学校運営協議会について発表
- 道徳地区公開講座で12名の地域の方が講師をやったことが良い評価だった
- 85周年にあたり道塚小学校や自治会、道塚という地域について話をしてもらった
- 子ども達が聞きたいと思う防災のこと、ドッチボールのことなどの話をしてくれる大人を用意
- 子ども達が選択して聞きに行く、その講師を地域の方がやる、地区公開講座で場をつくる

●教育研究会に参加した協議委員からの意見

- CS/学校運営協議会を道塚小以外でもはじまっております、道塚小でやっていること、やっていないが
できそうなことなどのアイデアをもらった。
- 卒業式などで学校運営協議会委員は、運営者として来賓でなく教師側に座る、活動対策 など
- 活動の方向性をあたえて学校運営協議会を運営している道塚小は進んでいると感じた。

●学校保健委員会を開催した。

- 校医（内科、耳鼻科など）、先生に保護者も参加してくれたが4名だったのでもっと参加してもらいたい
- チラシをもらっても内容が今一つわからない
- 仕事しているから、子どもを預けられないなど事情がある
- 参加してもらうなら周知は2か月前ぐらいがよい
- Zoomなどの配信ができれば会議の時だけ時間を作ればよいので参加しやすい

◆2024年度（令和6年度）のスケジュール

●学校行事の予定（案）が副校長より示された。

また、学校・児童が関係する地域行事予定（案）について学校・協議会委員で確認した。

→4月8日 入学式、始業式 →5月25日 運動会 →1月24日 展覧会

→3月24日 卒業式 →3月25日 修了式 など

→来年度、展覧会なので大人のワークショップや地域の展覧会もお願いしたい。

●学校・協議委員の意見交換

→スマイルパパのイベント「道塚ホラーナイト（おばけ屋敷）」

→今年は3月6日(17:30 集合 18:00 スタート 20:00 まで)に、5,6年生限定(128名)でやった

→新型コロナ禍前（4年前）は全校が対象だった

→保健室を通過して体育館までのコース、最後は体育館でおどかさ

→大人が本気で驚かすので、子ども達は叫びながら喜んでいて、

→先生方が参加してくれると子ども達も喜ぶが、参加する時は勤務として調整するなど検討が必要

●CSの運営に関するチェックシートについて資料をベースに意見交換した。

→CSの運営に関するチェックシートは、文科省がCS（学校運営協議会制度）のポータルで提供している。

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/torikumi/chiiki-gakko/cs.html>

→CSの自己診断としてよりよいCSにしていくための気づきを得るためのツール

→今回は協議会委員だけを対象にしたチェックシートを使用し、評価とコメントをもらった

●「教職員の任用について提案や意見を述べる機会がある」の項目について

→機会がなく「もうすこし」の評価と思われるが、CS枠で1名の応募があった

→自宅が近く、地域運営をしているところで勉強したいという理由だった

→ホームページに掲載されている情報をよく見ているようだ

●協議委員との意見交換

→どんな先生を要望するか？

→子どもの好きなところを伸ばす、子どもと話をしてくれる

→学校運営に協力的な先生

→親目線でみると子どもが良い先生と言っているのは

→休み時間に一緒にあそんでくれる先生、日常的なやりとりの中で子どもが感じている

●「子どもの意見を反映させる機会や仕組みがある」の項目について

→子どもの意見を学校運営協議会へ反映することができるか？

●協議委員と意見交換

→子どもに聞く、卒業生にアンケートをとる、

→卒業前に6年生にアンケートをとる、道塚小にあれがあればよかった。。。を聞く

→子どもの話を聞く場をつくる

→質問形式で意見を集める機会があれば、大人から聞く、子ども達から自発的に言うができる

→低学年は良いが、高学年は思慮深くなっているから言わないかもしれない

→学校運営協議会が年6回あるのだから代表委員が協議会にきて発表する

→代表委員が課題を発表、子ども達の想いをいう、どんな学校にしたら良いか発表する

→運営委員、教師が受け止めて、実現にむけて検討し大人として応えを返す

→子どもの意見をとりいれるには、機会をあたえることは大事

→この会議に子ども達が参加し、一緒に考えることは大事

- 行事を子ども達が実行委員会として先生方と作っている
- 6年生だがこの1年で自分の子供が変わったと思う、行事への思い入れが強くなった
- 5年生や下級生に見せておくは大事

◆1年間の活動に対して協議委員、先生方からひとこと（一部抜粋）

- 道塚小は他の学校よりも進んでいると感じている
- 時代がほめる時代、実現できるようにPTAもやっていく
- CSになって校長や先生方と話し合うことが増え、サポートとしてスタートに立った気になった
- 情報交換が密にできた1年、→子ども達に伝わった、話が聞けたときに良かったと思った
- 先生方が元気なのが一番大事、余裕をもって
- 時代が変わった、移り変わりは大事、子ども達に新しいものを提供していくのは良いこと
 - 例えば、藍染販売のビジネスを学校や子ども達と考えるなど
- 協議会は勉強になるし身が引き締まる、子ども達とたくさん関わられた
 - 3年生に自治会、作ってもらった、
 - かまにし17に道塚小のが掲載された
- 時が移り人が替わり町並みが変わっても、町とともにある学校との考え方は大事にして欲しい
- CS/学校運営協議委員が何かと思っていたが、具体的な問題からイメージ・理解できたと思う
- 道塚小卒業生の保護者が案外いる、地域に帰ってくるような子ども達になれば良いと思う
- 栽培クラブやスクサポにお世話になった、地域の方々の関わりが多くありがたい
- 子ども達は音読劇など前に出て表現する楽しみ、また、教員が力入れたことはがんばってくれる
- 3年生、地域と関わるが多かった、子ども達が自分たちなら何ができるかを考えた
- ICTを使って他校の子ども達と外国語学習をやった、子ども達は意欲的、次を楽しみにしている
- TVが取材にきた、放送を子ども達と喜んでみた、取材にきた人達とあえたことも体験になった
- 書き初め展、習字を貼ってもらうのにスクサポに手伝ってもらったら短時間でできた
 - 協力してもらって時間が短くなった分、授業・良い学校にしていきたい
- 5年生、町工場とのやりとりでスクサポにお世話になった
 - 5年生の保護者も多かった、子ども達は自分の家の工場を友達が見に来ることを喜んでいた
- 行事を代表委員だけでやるのではなく他の委員会と一緒にやる
 - 子ども達の意見を運営協議会で吸い上げて欲しい、具体的にこんなことができるみたいなのが必要
- 学校運営協議会で協議委員との熟議で話・意見を聞いて、そういう見方があると思いためになる
- 子ども達が大人に意見を言っても変わらない・受け止めてもらえないと思っている
 - ご意見箱とか意見をもらう、小さなことでも大人が応えてくれたと思えることが大事
- 自分の住んでいる地域の子ども達、大人たちと関わることも大事と考えさせられた
- コロナ禍があけ、いろんな行事がいままで通りできるようになり、子ども達の成長していく姿に感動した
- 6年生、どう卒業したいか「かっこよくか」「ふざけてか」自分できめなさいとってある
- かまにしコンサート、合唱クラブの子ども達なりに一生懸命やった、あたりまえでなく、ありがたい

◆令和5年度の学校運営協議会を踏まえて令和6年度は、「楽しい学校」「つながりのある学校」「防災」「外国人にやさしい学校」を運営方針にしたいと考えている

以 上